

今後の鳥取市立南中学校のあり方について
(答申)

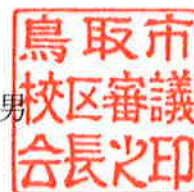
平成27年9月25日

鳥取市校区審議会

平成27年9月25日

鳥取市教育委員会
委員長 柴山宣慶 様

鳥取市校区審議会
会長 渡部昭 男



今後の鳥取市立南中学校のあり方について（答申）

鳥取市校区審議会（第12期）は、平成25年11月27日に第1回の審議会を開催して以降、鳥取市校区再編基本構想後期後半から引き継ぐ諮問事項である「鳥取市立小・中学校の学校配置及び校区の設定について」（平成21年8月24日付け発教学332号）に関する審議を進めてきた。

この審議の過程において、平成27年4月6日に「中間まとめ」を作成し、「早急に議論が必要な学校区」として「南中学校エリア」を含む6エリアを明示した。「南中学校エリア」については、とりわけ緊急を要する検討課題として位置づけ、現地での視察や意見交換等を行いながら慎重かつ迅速に審議を重ねた。

その結果、南中学校のあり方について、次のとおり複数案を答申する。

記

【分離新設案】

現在の南中学校区（日進小学校・美保小学校・美保南小学校・倉田小学校の4小学校区）から、美保南小学校と倉田小学校の2小学校区を分離し、中学校を新設する。

（説明）

- 1 美保南小校区と倉田小校区を合わせた新設校の平成39年度までの生徒数将来推計によると、平成36年度にピーク（376人）を迎え、学級数は国基準で10+（特別支援学級3）、県基準で13+（同3）と見込まれる。
- 2 分離した後の南中学校、すなわち日進小校区と美保小校区を合わせた平成39年度までの生徒数将来推計では、平成36年度にピーク（519人）を迎え、学級数は国基準で14+（特別支援学級4）、県基準で17+（同4）

と見込まれる。

3 余裕のある教育環境が確保できることから過密過大の解消において理想的であるとともに、通学距離が短縮でき安全も向上する。

4 ただし、以下のようなステップ、ないし検討すべき課題がある。

- (1) 分離新設にかかる校区再編について、住民の合意形成が必要である。
- (2) 新設校の建設候補地選定が必要である。
- (3) 鳥取市開発審査会の承認が必要である。
- (4) 予算の承認が必要である（総工費予測：約31.5億円）。
- (5) 土地取得交渉等が必要である。
- (6) 新設校の建設には、校区・設置場所が決定し、用地買収の目途が立って以降、最短で4年間が見込まれる。
- (7) 新設校完成までの間は、現南中学校内でのプレハブ校舎による対応となる。
- (8) 現南中学校の武道場に関しては耐震補強工事を行う形となる（総工費予測：約1億円）。
- (9) 平成28年度以降の生徒数の推移は予測であるために、国私立中学校等への進学、今後の景気変動、南中学校区内の宅地開発や市役所の移転に伴う影響などを十分に考慮する必要がある。

【増改築案】

生徒数増加の将来予測に基づいて、必要となる普通教室数などを増改築によって確保する。

(説明)

- 1 現在の南中学校の生徒数将来推計によると、平成29年度までは生徒数は680人程度、学級数は21＋（特別支援学級5）であり、現有施設で応急対応が可能である。
- 2 平成30年度以降は現有施設での対応は不可能である。平成36年度に生徒数のピーク（895人）を迎える（学級数：国基準24＋（特別支援学級5）、県基準：28＋（同5））ことから、国の補助が見込める3年前の平成33年度中に完成させるスケジュールを組むことになる。
- 3 平成29年度に基本設計、平成30年度に実施設計、平成31年度に着工、平成33年度中に完了の見込みである。

- 4 教室不足用のプレハブ校舎は平成29年度から、工事中仮設校舎は平成31年度からリースする見込みである。
- 5 現校区を維持できる。加えて、教室が一か所にまとまり、動線がよく、管理等も容易であることが見込める。
- 6 ただし、以下のようなステップ、ないし検討すべき課題がある。
 - (1) 過大過密の問題が根本的に解消するわけではない。
 - (2) 予算の承認が必要である（総工費予測：約10.8億円）。
 - (3) あわせて、運動場不足の解消の検討が必要である（地域のスポーツ関連施設の活用、武道場の増築など）。
（武道場総工費予測：約2.1億円）
 - (4) 生徒数が約700～800人台になった際に、学習、課外活動、安全管理及び災害時の避難などに生徒に不利益と危険が及ばないように十分な対策を講じる。
 - (5) H28年度以降の生徒数の推移は予測であるために、国私立中学校等への進学、今後の景気変動、南中学校区内の宅地開発や市役所の移転に伴う影響などを十分に考慮する必要がある。
 - (6) 必要な場合は通学区域制の弾力的運用や校区の一部見直しを検討する。

付記

なお、上記の二案の他にも審議されているので、詳細は第12期校区審議会議事録を参照のこと。

(<http://www.city.tottori.lg.jp/www/genre/000000000000/1440741886657/index.html>)

